

# 平成24年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成24年度予算査定は、平成23年12月から平成24年1月にかけて実施され、平成24年2月20日に、平成24年度予算案を記者発表いたしました。

平成24年度予算案は、新名寄市総合計画後期計画で想定される事業を具現化することを最優先として編成いたしました。

予算編成における市長査定の状況を、主な事業を中心にお知らせいたします。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>移住促進事業</b> 移住促進事業として、移住への第一歩である短期移住受入体制を民間活力を活用しながら進めていきます。 H24年度から、名寄市移住定住促進協議会（仮称）を設置し、各種団体や不動産業などの民間団体とともに、移住定住の促進に向け、取り組んでいきます。 （名寄市移住定住促進協議会負担金50を新規に要求）	要求額					名寄市の関係団体を中心に、市をあげての取り組みとし、関係団体間での情報の共有化などのメリットも活用しながら、より移住促進に取り組むことができるため、要求どおり査定しました。
	576				576	
	査定額 576 ○実施					
<b>地域コミュニティ施設管理事業</b> 風連地区の8施設、1広場の管理に要する経費です。老朽化した施設や設備の改修費についても計上します。 屋根改修7,652千円（2施設）のほか、各施設の臨時修繕費2,770千円を要求します。	要求額			392	20,354	施設改修について、大規模改修については、施設の管理運営方法など、審議会の議論を待つこととし、緊急性の高い修繕費を査定しました。
	20,746					
	査定額 12,145 △一部実施		5,000	392		

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>智恵文支所暖房改修工事</b> 昭和55年に開館し、平成8年に暖房設備工事（ボイラー交換等）を行って以降は、改修をしていない状況にあります。毎年度、給水管、給湯管から漏水修理を実施するなど老朽化が著しいことや、併設されている保育所への給湯設備も必要であるため、あわせて改修を実施するものです。	要求額 27,000 査定額 27,000 ○実施				27,000  27,000	年数が経過し老朽化が著しく、ボイラーの能力が落ちていること、また保育所への給湯も必要であり、支所を快適に利用していただくため、要求の通りとしました（配管も含めボイラー更新）。
<b>滞納管理システム改修事業</b> 市の基幹システムから、過去に職員が作成したシステムに滞納データを取り込んで、滞納管理を実施しています。作成してから年数が経過し、従前のシステムだけでは処理できない状況にあるため、滞納管理システムを導入するものです。（導入経費14,599を要求）	要求額 14,599 査定額 0 × ゼロ査定				14,599  0	過去に職員が作ったシステムが基本として残っているため、このシステムを再点検するなど、処理改善を図ることを検討し、ゼロ査定としました。
<b>市立総合病院の整備</b> 市立総合病院は、道北の基幹病院として急性期医療の提供を主体として、医療水準の向上と地域医療の確保に努めています。平成24年度では、精神科病棟の改築事業について実施設計と一部本体着工を実施します。また、冷房設備の導入を実施します（資本的支出を記載）。	要求額 1,083,795 査定額 1,083,795 ○実施	68,263	367,700	401,688	246,144  246,144	市立総合病院の道北地域の位置づけに鑑み、さらなる地域医療への取り組みが必要と判断し、内容及び事業費を精査の上、要求の通りとしました。 ・精神科病棟実施設計 71,000 ・精神科病棟本体工事（一部実施）184,400 ・病棟冷房機器工事外施設改修 115,000（ほか）
<b>地域活動事業</b> 風連日進保育所を活用して、市内保育所、幼稚園の親子と風連日進地区のお年寄りとの多世代交流や、子育て世代間の交流を促すとともに、育児相談や指導などの子育て支援を実施します（車両など備品購入2,057のほか、高熱水費など運営経費を1,864要求）。	要求額 3,921 査定額 3,921 ○実施			2,620  2,600	1,301  1,321	子育てに悩んでいる方を中心に、子育てを支援し、風連日進地区において他世代間交流を実施することにより、情報の提供の場を設け、さらに遊休施設の活用も図れることから、要求のとおりとしました。
<b>なよろ子育て応援事業</b> 子育ての支援策として、乳幼児のいる世帯に対し、2歳到達まで月に6枚（20ℓ）の炭化ゴミ袋を配布します。家計支援を念頭に現物支給を図ります。（40円×年間72枚×480人分で要求）	要求額 1,383 査定額 0 × ゼロ査定				1,383  0	高齢者のオムツ対策も考慮して、大きなゴミ袋を有料化する時に、既に取り組んでいたため、別な支援策を検討することとし、ゼロ査定としました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>要援護者支援相談等事業</b>  高齢者などの要援護者の相談に対する専門職員を配置し、生活支援サービスに関する様々な相談及び情報提供など、必要な支援を行うとともに、要援護者の台帳の作成を実施します(専門職員1名分の人件費を要求)。	要求額 2,639 ----- 査定額 2,639 ○実施			2,000	639	近年増加している、専門的なケアや支援が必要なケースには、専門職員によるきめ細かい支援が欠かせないものであります。また、要援護者データベースを作り、その利活用から有効な支援策が見込まれることから、要求の通りとしました。
<b>楽々館浴室改修事業</b>  該当浴室は、旧清峰園が昭和63年に改修したものを、現在まで使用しています。このため老朽化や施設の陳腐化が著しく、特に、トイレ個室は介護に支障のある構造となっています。今後は通所介護の利用増も見込まれることから、快適な施設に改修します。	要求額 8,527 ----- 査定額 8,527 ○実施				8,527	現在の介護方法に合わないような、設備の陳腐化、老朽化が進んでいること、また高齢化社会の本格的な到来を迎え、今後の利用増も考慮し、要求の通りとしました。 ・浴室改修 6,479 ・トイレ改修 2,048
<b>新分回車購入事業（小型動力ポンプ積載車の更新）</b>  第二分回車（豊里地区）及び第三分回車（旭地区）の車両を更新します。ともに老朽化が著しいため、車両を更新するものです（上川北部消防事務組合負担金に含まれます）。	要求額 26,900 ----- 査定額 26,900 ○実施		26,900		0	ポンプ車は地域防災の主要な設備であり、緊急時には、確実に使用できなければなりません。老朽化している車両を更新し、火災などへの備えを、より万全にするものと判断し、要求の通りとしました。
<b>コミュニティバス試験運行事業</b>  （仮称）複合交通センターを拠点に市内循環バスなどの効率的な運行形態及び利便性向上を図るよう、実証試験運行を行うとともに、ノンステップバス導入に対する支援などを実施します。	要求額 20,300 ----- 査定額 18,277 △一部見直し	8,120			12,180	（仮称）複合交通センターを拠点とした中心市街地の賑わい創出や、本格的な高齢化社会に対応したバス交通体系の策定は、名寄市にとって大きな課題です。特にバス交通体系の整備は、中心部と周辺部を結び、均衡ある市の発展に必要な事業と判断し、必要経費、事業内容などを精査した上で査定しました。 ・試験運行事業補助金 9,127 ・ノンステップバス導入経費 5,400 ・停留所表示板作成 3,150（ほか）

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>農業経営緊急支援事業利子補給補助金</b>  平成23年度の低温は、農業に大きな被害を与えました。このため、この農業被害を補い、翌年度の再生産につなげることを目的として、道北なよる農協が行う資金融資について利子補給を実施し、農家負担の軽減を図ります。	要求額 3,450 ----- 査定額 2,300 △一部見直し		2,000		3,450 ----- 300	近年の天候不順による農業被害は、農業者の営農意欲に大きな影響を与えるとともに、翌年度以降の再生産にも大きな打撃となることが懸念されます。昨年度に引き続き、農協の資金融資に対し支援を行い、名寄市農業を側面から支え、貸付条件、利率などの内容と事業費を精査し査定しました。（10年間の融資、利率1.0%を想定）
<b>有害鳥獣駆除対策事業</b>  エゾ鹿による農作物の食害防止と、生産者の生産意欲向上のために関係機関、団体が連携し、農作物被害防止を目的として実施します。エゾ鹿焼却施設の管理経費や、エゾ鹿を一時保存するための冷凍施設設置経費を計上します。	要求額 25,997 ----- 査定額 30,051 ○実施				25,997 ----- 30,051	基幹産業である農業へ、甚大な被害をもたらすエゾ鹿の駆除は、緊急の課題であり、名寄市では、いち早くエゾ鹿処理施設の設置に踏み切り、被害防止に取り組んでいるところです。今年度は、周辺環境などに配慮した適切な処理が必要であることを考慮し、冷凍施設を設置し、また焼却に係る委託分を風連処分場管理経費から振り替えて査定しました。 ・有害鳥獣駆除対策事業補助金 10,744 ・冷凍コンテナ購入3,000 ・焼却施設の管理運営経費 16,307
<b>食肉センター施設整備事業</b>  昭和41年の開設後46年が経過し、老朽化が著しい食肉センター施設について、改修工事を行います。改修にともない、処理頭数が増加することで、畜産業の振興を図ります（工事費600,000のほか、諸経費27を要求）。	要求額 600,027 ----- 査定額 600,027 ○実施		600,000 ----- 600,000		27 ----- 27	平成22年度で、既に着手した畜産物加工処理施設整備事業とあわせて、食肉センター（と畜施設）を整備することで、畜産業の振興、地域の雇用確保に大きく貢献するものと判断し、要求の通りとしました。
<b>商店街環境整備促進事業</b>  商店街を歩く楽しみを実現し、中心市街地の賑わいを創出することを目的として、商店街の環境整備を促進します。平成24年度では名寄せ通りのファサード（アーケード）整備に対し、補助を実施します。（ $30,000 \times 3 / 10 = 9,000$ の要求）	要求額 9,000 ----- 査定額 18,000 ○実施	7,200	5,000		9,000 ----- 5,800	多くの市民の皆さんが、街歩きを楽しみ、快適に買い物ができる環境を整えることが、街中の賑わい創出や、商業の活性化を推進することにつながります。第一に取り組んでいただくのは、商業者を中心とする方々でありますので、補助による支援が有効と判断し、事業規模の精査をした上で査定しました。 ・ $27,000 \times 2 / 3 = 18,000$ (2/3は補助率)

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>(仮称) 複合交通センター整備事業</b>  公共交通機関の結節点としての機能を有した施設整備と観光情報の発信拠点として、駅前地区の賑わい創出のため整備します。施設の完成は平成25年3月を予定しています。	要求額 553,037 ----- 査定額 523,037 △一部実施	116,985 ----- 116,985	406,000 ----- 406,000		30,052 ----- 52	本施設は、名寄市の財産を生かした、総合的な観光振興、地域振興に必要である施設、また街中の賑わい創出の拠点施設と位置付けています。本施設で、どのように事業展開をするか、それに必要な備品の購入費については、さらに精査することとし、査定しました。 (備品購入費 ▲30,000) 工事請負費514,350 電柱移設負担金5,000 ほか事務費3,687
<b>観光情報案内板新設工事</b>  J R駅前設置している観光情報案内板は、老朽化が著しい状態にあります。また、駅前ロータリー内にある歓迎塔も、設備が老朽化し、電気表示ができない状況にあります。このため、(仮称)複合交通センター内にディスプレイを使用したデジタル観光情報案内板を設置し、ニーズにあった情報発信を行います(情報案内板設置工事10,000要求)。	要求額 10,000 ----- 査定額 0 × ゼロ査定				10,000 ----- 0	どのように観光情報を発信することが、市外から来られた方々に有効なのかをさらに精査し、また、現在の歓迎塔に代わるランドマークとなりうるかも検討することが必要です。(仮称)複合交通センターで必要となる備品整備とあわせて再検討することとし、ゼロ査定としました。
<b>ひまわり観光推進事業</b>  ひまわりを名寄市内でより長く鑑賞できるよう「秋のひまわり畑」の実証実験や、市民参加型の「ひまわりプロジェクト」事業を展開し、「ひまわりのまちなよろ」を道内外へPRし、交流人口の拡大を目指します。	要求額 6,590 ----- 査定額 5,500 △一部見直し				6,590 ----- 5,500	名寄市観光振興計画(案)では、ひまわりは、名寄市のイメージのひとつに位置付けられています。これを用いた観光振興を図り、「秋のひまわり畑」など、昨年度から一歩進んだ取り組みで、さらに知名度アップなどを図ることとし、内容を精査の上、査定しました。(委託料4,300、チラシなど経費1,200)
<b>大学図書館基本計画策定事業</b>  文部科学省による「変革する大学にあって求められる図書館像」を踏まえた、多機能型の大学図書館建設に向けて、図書館基本計画を策定します(基本計画策定委託料で6,796要求)。	要求額 6,796 ----- 査定額 4,950 △一部見直し				6,796 ----- 4,950	名寄市立大学は、名寄市の財産の一つでもあり、また市民の皆さんへ開かれた大学でもあります。大学図書館も同様に市民利用を念頭に作り上げていかなければなりません。一方では大学図書館は、大学教育の根幹をなす施設でもあります。この財産を生かしながら、求められる大学図書館像を踏まえ、大学も市民もより利用しやすい図書館建設に寄与すると判断し、内容を精査の上、査定しました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>テニスコート改修事業</b>  スポーツセンター併設のテニスコートは、老朽化が進み、水はけが悪い、滑りやすく危険であるなどの問題点が生じている状況であり、大会開催に支障が出るなど、利便性が低下しています。もっとも古い砂入り人工芝コート（オムニコート）の改修を実施するとともに、観覧席の改修も実施します。	要求額 26,400				26,400	コート設置後老朽化が進んでいる状況にありますが、初年度が平成19年度である新名寄市総合計画前期計画から、財政状況などの要因で、事業の先送りがされてきています。しかしながら、大会運営に支障が出る状況を踏まえ、市内の他のコート、風連テニスコートや要望のある大学テニスコートの集約化を図りながら、効率的な運営を推進することを前提に、要求の通りとしました。 ・コート改修 24,300 ・観覧席改修 4,400
	査定額 28,700 ○実施		24,300			
<b>放課後子ども教室事業</b>  教育改善プロジェクトに基づき、小中学校の放課後の学習を支援するため、社会教育施設などを活用して、「放課後子ども教室」を開設します。	要求額 3,330	978		120	2,232	平成23年度補正予算で、先に取り組んでいますが、ここでは小中学生の居場所づくりを中心に事業をすすめてきたところです。平成24年度では、小中学生の放課後において、自学自習・テーマ学習など、学習習慣づくりの推進などを目的とした事業であるため、さらに一歩進んだ取り組みであると判断し要求の通りとしました。 ・放課後子ども教室支援員報償 2,400 ・消耗品、備品 930
	査定額 3,330 ○実施	978		120	2,232	
<b>(仮称) 市民ホール整備事業</b>  「芸術文化の拠点として」また「市民のコミュニティの醸成の場」としての(仮称)市民ホール整備に向け、基本設計、実施設計を行います。	要求額 82,500	22,200			60,300	(仮称)市民ホールは市民待望の施設であります。いかに市民の皆さんの要望を取り入れるか検討し、ホールの稼働率や、投資効果も視野にいれながら事業内容、スケジュールなどを精査して査定しました。また、社会教育一般行政経費より、事務費分を振り替えた上で、査定しています。 ・基本設計 25,830 ・実施設計 55,500 ・事務費 4,054
	査定額 85,384 ○実施	12,465	45,900	25,830	1,189	